

## 情報発信活動

- ・ 大学教育改革プログラム合同フォーラムにおける発表 . . . 1
- ・ Web サイトを通じた情報発信 . . . 3

# 大学教育改革プログラム合同フォーラムにおける発表

担当 見目喜重

## 【概要】

本学の大学教育・学生支援推進事業における取り組みを紹介するとともに、他大学の取り組みに関する情報を収集するために、大学教育改革プログラム合同フォーラム（主催：合同フォーラム推進事務局）にてポスター展示による発表を行った。当日は多数の教育関係者の方々に来場頂き、多数の意見・質問を受けるなど、本学の取り組みに対して強い関心が示された。

## 【事業内容（平成22年4月から平成23年3月）】

### 1. 展示発表

合同フォーラム推進事務局主催の大学教育改革プログラム合同フォーラム（秋葉原コンベンションホール他、平成23年1月24・25日）のポスター展示会場（大学教育・学生支援推進事業【テーマB】）にて、本学の取り組み「総合的学士力養成に向けた実践教育の改善」の展示発表を行った。

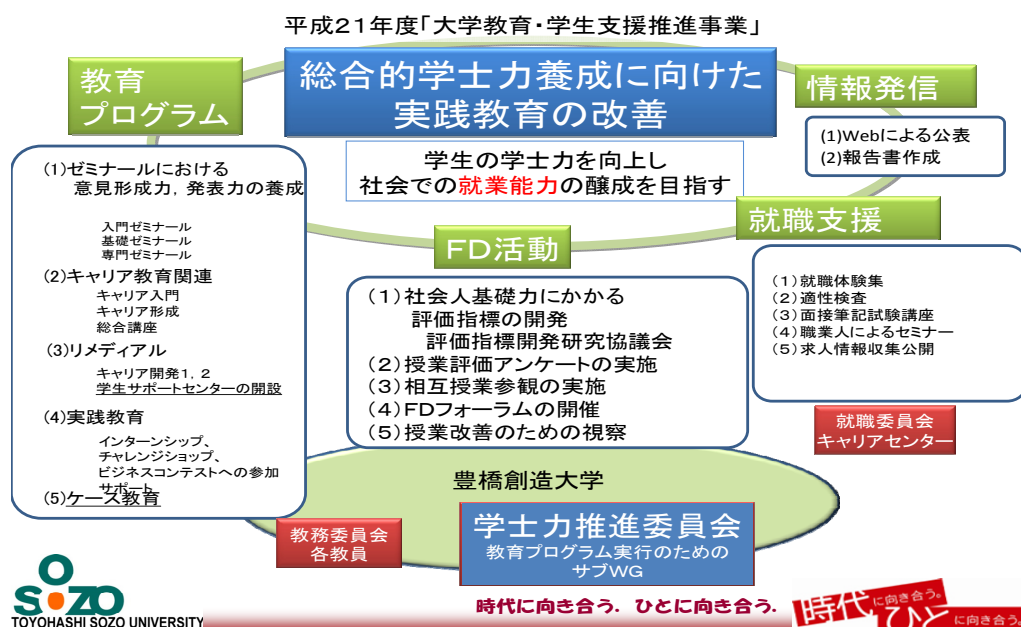


図1 本学の取り組み：「総合的学士力養成に向けた実践教育の改善」の概要

図1に本学の事業の概要を示す。本学では、①教育プログラムの改善と新事業の展開、②FD活動、③就職支援への取り組み、④情報発信活動の4つの取り組みを柱に事業を推進している。これら各取り組みのより具体的かつ詳細な事業内容を、全体のスケジュールや学年配置、事業展開の方針などを交えながら紹介した。

展示発表では、①教育プログラムについて、入学から卒業まで各学年に配置されているゼミナールの運営方法、総合講座の運営方法、リメディアル教育の実践と学生サポートセンターの運営上の問題点・課題、インターンシップの実施上の問題点、ビジネスプランコンテストへの参加のサポート体制等に関して多くの意見や質問を受けた。また、②FD活動についても、FDフォーラムのプログラムや相互授業参観の実施効果等に関して、多くの意見や質問を受けた。



図2 展示発表の様子

### 【事業実施に対する評価】

合同フォーラムにおける展示発表を通して、本学の取り組みに対して多くの意見・質問を受けるなど、多数の教育関係者の方々に強い関心を持って頂くことができた。また、他大学の取り組みについても多くの情報を得ることができた。今後の本学の取り組みの実効性を高める上でも非常に有意義な機会であり、次年度以降も継続して参加をすることが重要である。

# WEB サイトを通じた情報発信

担当 三輪多恵子

## 【概要】

『WEB サイトを通じた情報発信』は、“教員の相互理解を深め、教育効果の向上を図る”と共に、“本補助事業における各取り組みについての認知度を高め、その成果を社会に還元する”を目的とする。昨年度は、各プロジェクトおよびワーキンググループ（以下、サブWG）の目的、取り組み内容等についてのWEBページを作成し、外部に公開を行った。本年度は、平成22年度における各取り組みについてWEBページ化を行い、WEBサイトを更新する（平成23年3月末に作業完了予定）。

## 【事業内容（平成22年4月から平成23年3月）】

### 1. 学士力推進事業 WEB サイト

本補助事業で作成したWEBサイトの構造（階層）を図1に、WEBページを図2にそれぞれ示す。

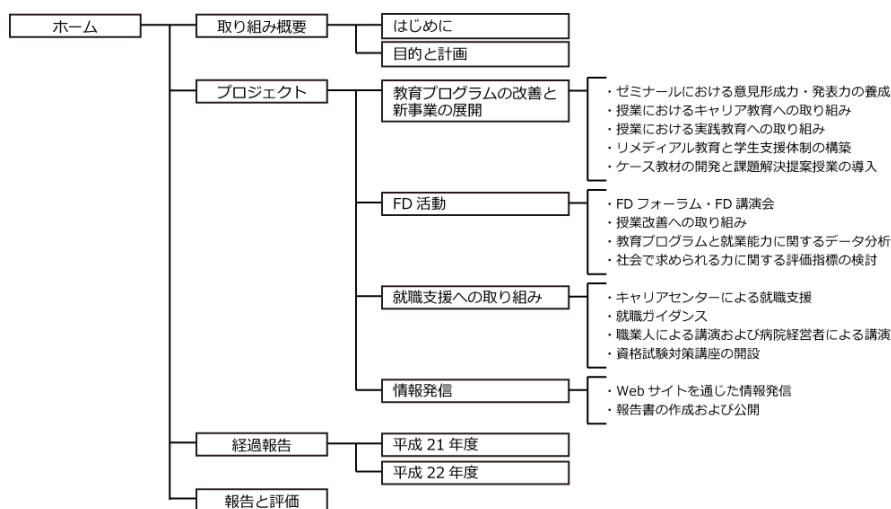


図1. WEBサイト構造



(a) トップページ



(b) プロジェクト目次ページ

図2. WEBサイト

## 2. 外部からのアクセス情報、等

本WEBサイトの平成22年度におけるアクセス数の推移を図3に、当該期間におけるアクセス元を集計した結果を図4にそれぞれ示す。なお、各データは外部からのアクセスのみを集計したものである。

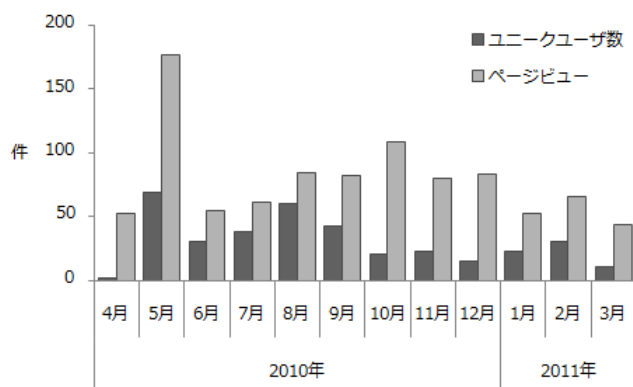


図3. アクセス数の推移

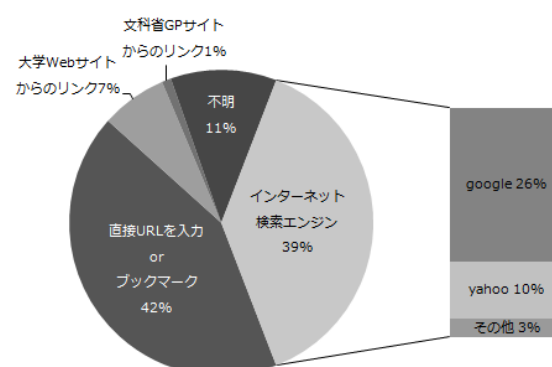


図4. アクセス元の集計

インターネット検索に用いられたキーワードの主なものを表1に示す。なお、各キーワードはWEBサーバのアクセス解析結果に基づいて手動で集計を行っている（例：“就職支援”と“就職支援の取り組み”は共に“就職支援”として集計）。

表1. 検索キーワード（トップ20）

キーワード	数	キーワード	数
NAAIP	25	就職支援	5
就業力/就業力の向上・育成	24	社会人基礎力	5
豊橋創造大学	22	発表力	4
FD/faculty development	19	診療情報管理士	4
リメディアル/リメディアル教育	17	国家試験	4
就職/就職活動/就職試験	9	総合講座	3
理学療法/理学療法士	8	学生支援推進プログラム	3
学士力	8	キャリア教育	3
合格/合格率	7	キャリアセンター	3
病院/病院経営者	5	看護師	3

※本学教員や各種講座における講師名での検索については集計から除外

なお、本サイトに対して、当該期間における学内PCからのアクセスは、ユニークユーザ数が59、ページビューが488だった。

### 【事業実施に対する評価】

図3より、期間全体を通して、1人のユーザがサイト内の複数のページを閲覧していることが確認できる（平均閲覧ページ数：ページビュー÷ユニークユーザ数≒2.60）。また、インターネット検索エンジンからの閲覧者が全体の4割程度存在しており（図4）、さらに、“就業力”“学士力”“社会人基礎力”といった本補助事業の核（コア）となるキーワードで本サイトが検索されることが確認できる（表1）ため、外部に対して本補助事業の認知度を高めるために、本サイトが一定の役割を果たしていると考えられる。

なお、当該期間における学内からのアクセス状況は、平均閲覧ページ数が1ユーザあたり8.27ページと非常に多くなっており、本サイトが学内に対して教員の相互理解を深め、教育効果を高めるために一定の役割を果たしていると考えられる。